

《経済経営学部 経済学コース》

【教育課程(学部・学科レベル)】経済経営学部経済学コース

アセスメント方法	アセスメント項目	実施時期・対象	実施者
単位の修得状況*1	DP の(3)育成する人材像	半期末ごと・全学年	教学 IR 推進室(分析)
学修成果等アンケート (追加質問 1) *2	DP の(3)育成する人材像(人材像)	学部卒業時・4 年次	教務委員・FD 委員
学修成果等アンケート (追加質問 2) *3	DP の(3)育成する人材像(資格取得)	学部卒業時・4 年次	教務委員・FD 委員
進路届*4	DP の(3)育成する人材像(進学・公務)	学部卒業時・4 年次	教務委員・キャリア支援委員
Mahara を使った評価 *5	DP の(5)獲得すべき学修成果/普遍的に有用性を持つ能力	年度末ごと・4 年次	各担当教員
学修成果等アンケート (問 4) *6	DP の(5)獲得すべき学修成果/普遍的に有用性を持つ能力	学部卒業時・4 年次	教務委員・FD 委員

【科目レベル(専門教育科目)】経済経営学部経済学コース

アセスメント方法	アセスメント項目	実施時期・対象	実施者
Mahara を使った評価 *7	DP の(5)獲得すべき学修成果/分野固有の知識・理解及び技術	半期末ごと・全学年	指定科目の担当教員
学修成果等アンケート (問 9) *8	DP の(5)獲得すべき学修成果/分野固有の知識・理解及び技術	学部卒業時・4 年次	教務委員・FD 委員

注

- *1 卒業要件 124 単位に対する修得単位数の割合を学年ごとに算出し、育成する人材像の経過評価を行う。
- *2 人材像の達成度に関する質問を学修成果等アンケートに追加して、学生評価による達成度を測る。
- *3 各種資格試験合格に関する質問を学修成果等アンケートに追加して、資格取得に関する達成度を測る。
- *4 大学院進学者数・公務員就職者数を進路届から捕捉して、育成する人材像のうち進路に関する達成度を測る。
- *5 Mahara を使って、普遍的に有用性を持つ能力のうち、3 つの能力の獲得度評価を行い、個々の学生にフィードバックする。
また、収集された Mahara のデータをもとに全体評価を行う。
- *6 学修成果等アンケート(問 4)にある項目 6,8,9,13,15 等を用いて、普遍的に有用性を持つ能力の獲得度を評価する。
- *7 Mahara を使って、分野固有の知識・理解及び技術のうち、9 つの分野のそれぞれの獲得度評価を行い、個々の学生にフィードバックする。
- *8 学修成果等アンケート(問 9)を用いて分野固有の知識・理解及び技術の獲得度評価を行う。なお、この問 9 の分野わけは、将来的には DP とともに、Mahara の 9 分野に合わせていくこととする。